

平成28年度第1回八幡地域協議会会議録（HP版）

日 時 平成28年5月27日（金）午後1時58分～午後2時59分

場 所 八幡タウンセンター 第3・第4会議室

出席者（12名）

1号委員 佐藤政義 島井里美 池田満好 本多秀之 荒生栄治
遠田秀明 長谷川明子 小松久美子

2号委員 後藤純子 阿部喜至夫
小松幸雄 高橋知美

欠席委員 佐藤康晴 石川正志

八幡総合支所：支所長（兼）地域振興課長 後藤啓、建設産業課長 伊藤将人
地域振興課長補佐 村上祐美、地域振興課主査 鳴瀬勉

傍聴者： なし

議事日程

～平成27年度地域協議会市長報告会について 他～

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 新委員の自己紹介（佐藤政義委員）
- 5 報 告
- 6 協 議
- 7 その他
- 8 閉 会

【協議の概略及びその結果】

本協議会は3月28日に開催された旧三町地域協議会市長報告会での内容の報告の場となった。また、新年度の八幡地域に関する予算等の説明があった。

- 1 開 会

○小松副会長 本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。これより、

第1回目の地域協議会を開催します。都合により欠席の委員は、佐藤康晴委員、石川正志委員の2名です。

2 会議録署名委員の指名

○**小松副会長** 次に次第の2、会議録署名委員の指名を行います。番号順ということになっていますので、今回は、“10番の長谷川明子委員”にお願いしたいと思います。長谷川委員、よろしくお願いします。

○**長谷川明子委員** わかりました。

3 新委員の自己紹介

○**事務局** それでは、次第の3、新委員の自己紹介ということで、このたび、一條コミュニティ振興会推薦の佐藤成亮委員から一身上の都合により委員を辞退したいとの申し出があり、代わりまして、一條コミ振より市条一区の佐藤政義さんの推薦がありまして、今年の4月1日付で、新しく委員に委嘱されました。来年の3月まで、1年間よろしくお願いします。ここで、佐藤政義委員に簡単に、自己紹介をお願いしたいと思います。

○**佐藤政義委員** 市条一区の佐藤政義と申します。このような会議は初めてなのでよろしくお願いします。

○**事務局** 次に、次第にはありませんが、今年の市の職員の人事異動で若干メンバーが代わりましたので、順番に職員の自己紹介を簡単をお願いしたいと思います。後藤支所長からお願いします。

～出席職員が自己紹介～

4 会長あいさつ

○**小松副会長** ありがとうございます。今年も1年よろしくお願いします。それでは、会議次第に従いまして、荒生会長からのあいさつをお願いします。

○**荒生会長** 今日の案件はこの間、開催された市長報告会や新年度予算等の内容になっています。どうぞよろしくお願いします。

5 報告

○小松副会長 それでは、これより協議に入ります。会長が議長となり進めていただきます。

○荒生議長 それでは、最初に次第5の報告に入りますが、概ね、1時間ぐらいの意見交換、と考えておりますので、ご協力願います。それでは、最初に報告事項の(1)「平成27年度地域協議会市長報告会について」、事務局より説明をお願いします。

○後藤支所長 ～資料1「平成27年度地域協議会市長報告会開催状況」により説明～

◇市長への提言項目と回答

提言①：子育て支援の充実を（子ども同士が交流できる居場所づくりの推進等）

市長の回答：今回、保育料の軽減を思い切ってやって、次の策を考えている。また酒田市全体に子ども達が交流できる専門の施設はなく、各地に分散して建てることは難しい。酒田駅前整備やジオパークの関連で施設設立の可能性は有り得る。

提言②：八幡地域の観光PRの拡大を（ジオパークと絡めて八幡地域の魅力の一層の情報発信と観光振興を）

市長の回答：八幡の観光振興のポイントとなるジオパークの認定が鍵を握っており、地域で認定へ向けて盛り上げてもらいたい。

提言③：八幡病院については地域との十分な議論を（地域住民が安心して暮らせるような前向きな検討を）

市長の回答：医師の確保のためには、八幡病院のあり方として、病院機構という医療の核に身を委ね経営を委ねることは必須のことで、今、打てる手を打っておきたいということ。現時点では、医療機関としてなくすることは一切考えていない

○荒生議長 ただ今の説明を聞いてのご意見ご質問などございましたらお願いします。

○高橋知美委員 子育て支援の充実の関係で市長は、「八幡を含めて酒田市全体で子ども同士が交流できる施設はない。今後、酒田駅前開発やジオパークとの関連で出来るかも知れない」ということで、ただ「かも知れない」では、具体性に欠ける。酒田市にはないので作れないというのはおかしい話であり、今後、酒田市として子育て支援の充実を考えているのならば、子ども達の居場所・環境づくりをどのように考えているのかというのをもう少し、市長の立場として具体的に回答いただければ良かったかなと思う。

○荒生議長 遊佐町にはそういった施設があるとチラッと聞いていたが、詳しい施設の中身については不明確だったので、市長の回答に対して突っ込んで聞けなかった。

○高橋知美委員 子育ての充実というのであれば、もう少し子ども達の生活環境について考

えていただければと思う。

○後藤支所長 市長の立場として、その場で「わかりました。すぐに作ります」とは行かず、担当課の子育て支援課で、ある程度の段階になったら具体的な話が出てくると思われる。

○高橋知美委員 そのような施設を旧市の市街地に作ると、車がないと動けない遠い旧三町の子ども達はなかなか使えない。小さな空き家でも良いので子ども達の交流場所となるスペース作りを是非考えていただきたい。

○後藤支所長 八幡病院については、2月の説明会の際に、新年度になったら再度説明会を開催するという話をしてきたが、その説明会の前に自治会長・コミ振会長・民生委員・婦人会等の代表による「八幡病院等のあり方を考える協議会」を結成して、第1回目の会議を荒生会長さんも入って先日行った。次回は6月21日に行く予定であるが、地域への説明会の進め方等も含めて、この協議会で検討してから改めて住民の皆さんに説明するというように進めている。この協議会では、八幡病院が診療所になった後の仮称として「医療センター」というような名称を考えていることや医師や看護師の予定数などの説明があった。

○荒生議長 私もそこに参加させてもらったが、色々な意見があって「診療所化には反対だ。話を元に戻してくれ」といった意見もあった。私の個人的な感想は、住民の気持ちに市の意向がそれなりに沿っている感じがした。いずれは病院も規模が小さくなるのは当然の流れであり、それは住民もある程度認識していると思われる。市からの提示は、中身をみると住民のためにということで、かなり譲歩してもらった印象で、これ以上を望むのは無理なのかなという感じがした。

○池田満好委員 5月17日に、自治会長会の役員と議員3名で市長へ陳情書を持っていった。自治会長会の中では「残してもらいたい」といった意見が多い訳だが、自分の考えとしては毎年1億数千万円の赤字を背負って、その赤字分、一般市民から税金を徴収して負担をかけるのは酷だろうと思われる。ただ、自治会長の皆さんが言っていることは、いきなり当初から「八幡病院を診療所化します」といった話の持って行き方が、スタートの大きなミスだったということ。「これからも医師の確保は大変だろうし、看護師の数も少なくなると思われるが、八幡地域の皆さんは八幡病院についてどのようにお考えか」みたいな感じでスタートしたら、こんなには揉めなかったと思われる。この間、開催された地域説明会でも「診療所化ありき」みたいな話であったし、まずは、診療所化に反発する大きな

要因として、「夜に診療してもらえない」というのがあった。救急車で日本海病院まで運べばそれで済むという話だったが、緊急医療は30分以内と言われており、升田あたりの距離を考えると、その時間内では無理であり、そのまま残してもらいたいという反対意見だった。

○荒生議長 池田委員はこの診療所化は賛否どちらの立場か。

○池田満好委員 長い期間、毎年多額の赤字を抱えることは問題であり、住民へのサービスを充分考慮してもらえれば問題ないと思われる。そのような考え方のせいか、反対派が多い自治会長会の中では自分はずらい立場な思いもある。また、今回、八幡病院のあり方を考える協議会が立ち上がった訳だが、平成21年頃も同じような協議会があったと聞いたがどうなのか。

○後藤支所長 それは病院の経営関係を検討する協議会でそういった専門分野の委員が入っていた。

○池田満好委員 診療所という名称については一般的に格下げといったイメージがあると言われているが、日本海病院の施設の一環として夜も診てくれる体制などクリア出来たなら私はそれで良いのではと思っている。

○荒生議長 その協議会では私も救急医療の関係が一番の問題と思われた。

○池田満好委員 先程、救急医療のリミット30分の話をしたが、結局、最初に八幡病院に来て「ここでは対処出来ない」となれば他の大きな病院に運ばざるを得ないことになる。

○荒生議長 自治会長会の中には、診療所化はやむを得ないといった考えの人もいないのか。

○本多秀之委員 八幡病院の関係で地域の説明会が開催されたが、会場に出向く人は少ない人数であり、地域が開催を求めているながら、いざ開催となっても出向かないで苦言だけを行っているのはおかしな話である。また、せっかく八幡病院の関係で協議会をやられている訳であり、会議の内容がわかるように時間を置かずに地域住民に周知することが大事であり、今後の方向性を知らないが故の不安感も少しは解消されるだろう。

○後藤支所長 第1回目の議事録は、間に合えば6月1日広報と一緒に全戸配布したい。

○荒生議長 八幡地域だけでなく、周辺地域には配布しないのか。

○後藤支所長 どの地域まで配布すればということになり、今回は八幡地域だけで、後は八幡病院の窓口に置いて患者さんから見ていただくというような方法しかないのかなと思っ

ている。

○荒生議長 協議会で、整形外科の科目が増えると聞いて、私は評価している。

○池田満好委員 一番の問題は夜の診療が出来ないことに尽きる。そのことが皆さん非常に不安に思われているので、それをクリア出来るような道筋をつけてもらえれば、それで良いのではと思っている。市長も、今までの医療サービスを落とさないような方向を目指しているとのことだった。県から、病床数の減少の決められた数字のノルマを与えられている訳であり、私は、夜の医療を充実させる方向に持っていくのだったら、良いと思っている。

○後藤純子委員 八幡病院の病室を 50 歳以上の高齢者住宅にするといった話が出ているのか。

○後藤支所長 現在、調査している段階である。

○後藤純子委員 私としてはホスピス病院がほしいが、現在の建物は、廊下が狭くてストレッチャーが交差出来ないといった建物の構造上出来ないという話だった。それでは、現在、入院している患者は日本海病院で面倒を見てもらえるのか。

○後藤支所長 日本海病院に限らず、周辺の本間病院等や介護施設に入所となるかも知れない。

○後藤純子委員 自宅に戻されて、在宅介護の可能性もあると思う。では、開業医の受け入れは出来るのか。

○後藤支所長 入院設備のある全ての医療機関には打診する。

○後藤純子委員 地元入院施設があると大変助かるので、残してほしいという気持ちは強い。ホスピス病院の方向に転換出来ればと思う。

○荒生議長 次に資料 2 の「八幡総合支所の地域づくり予算・管内予算」について説明願います。

○後藤支所長 ～資料 2 により説明～

◇平成 28 年度八幡総合支所地域づくり予算について

- ① 地域協議会運営事業
- ② 地域振興事業・・・3年目の婚活事業や3年ぶりの国際音楽交流会等を予定
- ③ 生涯スポーツ振興事業・・・八幡体育祭とスキー大会
- ④ 花いっぱい推進事業・・・各自治会に花の種を配布

- ⑤ 八幡地域文化振興事業・・・八幡民俗芸能公演会を11月に予定
- ⑥ 地域おこし協力隊活動推進事業・・・今年7月から男性1名赴任予定
- ⑦ 青少年国内外交流事業・・・沖縄東村との交流事業
- ⑧ ふるさと会交流促進事業・・・首都圏の八幡地域出身者による「庄内やわた会」への支援
- ⑨ 地域振興事業（建設産業課分）夏まつりを実施する経費・・・例年8月14日に実施
- ⑩ やわた産業まつり支援事業・・・例年10月の最後の日曜日に開催

◇平成28年度八幡総合支所管内の予算について（抜粋）

- ・ひとづくり、まちづくり交付金等→今年度からコミ振経由で交付
- ・鳥海山、飛島ジオパーク推進事業→8月に審査員が八幡に来て審査する。
- ・鳥海高原牧場管理運営事業→指定管理料、施設修繕費、機械借上げ料で構成
- ・市道荒町山根線改良舗装事業→今年度より着工
- ・自然体験学習推進事業→家族旅行村を拠点に小学生が宿泊研修、定着してきた。

○荒生議長 ただ今の説明に関し、質問等ありましたら遠慮なくどうぞ。

○池田満好委員 市道の山根線が予算が付いたということで、長年の思いが叶い地元も喜んでいいる。これから、測量作業に入るということで、図面等を見せていただきながらどのような道路になるのか楽しみにしている。あと、地域づくり予算の関係で地域おこし協力隊以外、増えている予算が何もないし、逆に減っているものもある。大切な地域のことでありだんだん減らしていきただけでなく、予算が付くようなことをやっていただきたい。あと、自治会運営費交付金の予算の関係で、八幡には49自治会があるが217万4千円で、一世帯当たり去年まで190円で今年が10円増の200円であり、これでは子どもがお菓子を買うにしても品物によっては買えない金額である。わずか10円の増というのは残念であり、来年度は是非、行政のほうから考慮いただきたい。各地域で自治会運営には苦勞しており、運営費も少ない中で非常に苦慮してやっているのが実情だ。そのせいか、現在、自治会長を引き受けてくれる人が中々いなく、どの地域でもそれが問題になっている。この点は、行政のほうから大きな声を出して検討していただき、来年度の自治会運営費交付金の予算の増額をお願いしたい。地域のコミュニテイの基本は自治会であり、大きな裁断

をしていただきたい。

○**遠田秀明委員** 花いっぱい運動の参加自治会はどのくらいなのか。以前は国道沿いの花壇がきれいだったが、今ではそれもなく、寂しくなっている。

○**事務局** 花いっぱい運動の参加自治会は昨年度22自治会であり半数以下である。少ない原因としては、種子からの配布のため育成に労力がかかり、また比較的育てやすい同じ花の種子を配布しワンパターンになっている影響も少なからずある。一方、苗の配布になると経費が約3倍になってしまう。また、国道沿いの花壇については以前は業者に委託していたが、経費等の関係で取りやめになってしまった。

○**阿部喜至夫委員** 観光振興の関係でも、市長の回答には具体的なものが感じられない。「鳥海高原牧場管理運営事業」3千万円弱の予算が計上されているが、単純に比較するのは正しくないかもしれないが、例えば秋田県にかほ市の土田牧場あたりでも市の予算で酒田市みたいにこんな多額の予算を投入しているのかなと思われる。しかし、この予算をかけることによって鳥海やわた観光のヨーグルトやソフトクリームが出来ている訳であり、その意義はあるし、私達の「産直たわわ」も恩恵をうけているが、民間であれば、このような予算をかけないでも、それなりに経営は成り立っているのではないのか。もう少し観光振興の面で、例えば、乗馬とか、牛乳の生産だけでなく、販売するなどして、観光のほうに力を入れて、鳥海高原牧場で観光客を誘致するみたいな施策を市の方からやわた観光に働きかけることは出来ないのか。他に、岩手の小岩井農場でもやっている訳であり、そのような可能性を考える余地はないのかなと思われる。

それと、八幡病院の件では、夜間の診療がなくなるということで日本海病院まで行くことになるし、自分で運転することが出来なくなれば救急車を呼ぶことになる。そうすると、救急車の台数や隊員の人員の増加も必要となるだろうが、それと合わせて診療所化という方向に進めばすこしは安心材料が出てくるのかなと思われるが、協議会では検討しているのか。

○**後藤支所長** 以前、牧場を担当していたが、特段、観光地化については話は出てこなかったが、後で担当課にこの話をしたい。また何かあったらアドバイスをいただきたい。救急車の増台の件については、救急車が出払ってしまっただけで救急依頼があった場合、他の地域の消防署からの応援体制が整っており、八幡の関係も引き続きそのような体制で対応して行きたい。

- 阿部喜至夫委員 今後、診療所化になった場合、緊急の要請が増える可能性がないとは言えないと思うが、人口等から考えて充分対応出来るということで、頑張ってください。
- 池田満好委員 夜の診療体制がとれることが、第1番目の原則だ。
- 後藤支所長 夜の診療体制については、今後の協議会の大きな検討課題である。救急車の配備については、酒田地区では全国の一般的な基準よりも手厚く配備されている。
- 荒生議長 阿部委員からお話しがあつた秋田の土田牧場の関係で、私も個人的に数回行ったことがあるが、牧場で作られた生の牛乳の売店には観光客が大勢いて、あのような販売方法も良いという感じがした。酒田市の場合、数千万円という多額の助成金を鳥海高原牧場に出している訳だが、経緯はよくわからないが、以前は、民間に移管していたと聞いた。もう少し、他のやり方があるのかなと思われるが、現在の経営者はだれか。
- 後藤支所長 鳥海やわた観光(株)です。
- 荒生議長 他にございますか。
- 小松久美子副会長 今日、用事があつて遊佐町に行った際、ジオパークの候補地のパンフレットを見てきたが、酒田市ではそういった名勝地の写真や説明等が入ったパンフ等を作る予定はあるのか。遊佐町のパンフは鳥海湖とか三崎とか10箇所くらい載っていたが、酒田市としてもジオパーク構想を広めるためにも、そういったものを置いて一般市民に関心を持たせることが必要ではないのか。
- 後藤支所長 総合支所には置いてないが、主だった所にはあると思われる。
- 小松久美子副会長 インターネットでも検索したが酒田市の分は出てこなかった気がしたので、パンフ等をわかりやすい所に置いて周知してもらえればと思われる。

6 協 議

- 荒生議長 次に、次第の6、協議事項の(1)「八幡地域協議会年間予定(案)について」、事務局より説明をお願いします。
- 事務局 ～資料3「平成28年度地域協議会年間計画(案)」について説明～
- ・地域協議会を年4回、旧三町合同研修会を秋に予定。
 - ・3月に市長への報告会を予定。
- 荒生議長 ただ今の説明を聞いてのご意見ご質問などございましたらお願いします。事務局の案でよろしいでしょうか。協議会をこのような案件で開いてほしいとか要望はありま

せんか。

○後藤支所長 回数については特段制限はない。皆さんから課題が出た時にそれを議題にすることもある。

○荒生議長 地域協議会でも八幡病院の件をやったほうが良いのだろうか。

○池田満好委員 個人的にはしなくて良い。今まであったものが無くなるということで、無くされる立場の人たちの気持ちはわからなくはないが、それなりのサービスが出来れば、毎年1億数千万円ずつの赤字を背負っていくよりは、何年か分のまとまった金額で、先程高橋委員が提案したような子ども達と一緒に交流出来る施設を作ってもらおうとかしたほうが有意義な感じがする。病院の隣にある幸楽荘など様々な介護施設があるが、万が一の際、夜でも日本海病院に行かなくても、医師がその施設に行き死亡診断書を出すことが出来るなど、夜間診療が出来る体制を取っていただくことが可能になるならそれで良いと考えている。今回の病院の件は、絶対なくしたら駄目だという話ではないと思うが、「有るものを無くするのは駄目、一度無くしたら新たに作ることは出来ない」等の意見が多い。

○荒生議長 あり方を考える協議会のメンバーに介護施設の職員も入っていたが、「市には配慮してもらっている」といった口調だった。たぶん、手一杯のことをとということで評価しているのだろう。

○池田満好委員 集約すると、日本海病院をバックにして医療機関としてサービスが落ちないようにはしていただきたいということだ。赤字になる分を10年も貯めたら十数億円にもなり、それを八幡地域に何らかの形で還元してもらえたら逆に良いのではないか。

○高橋知美委員 鳥海高原牧場管理運営事業の関係で、先程、観光のほうにも力を入れることは出来ないのかとの意見があったが、この地域協議会で数年前にもその話が出ており、その時は、観光するためには施設自体を代えなければ出来ないような話であった。今後、観光に力を入れてくれるのであれば、是非、子ども達が触れるような施設にしていきたい。学校の先生から子ども達が生き物に触れる場所はないかと聞かれるが、以前は日和山公園に鳥や動物がいたが、現在は酒田市内でそういった場所はない。鶴岡には加茂水族館があるが、そういった施設が有ると無いのでは子ども達への教育の面でも多少なり影響があるのではないかと思う。生き物と出会える場所が出来れば、それに越したことはないので、牧場の関係で観光のほうに力を入れることが出来るのであれば是非、子どもたちが生き物に触れ合うことが出来る場所をお願いしたい。

7 その他

○荒生 議長 協議をこの辺で締めたと思いますが、最後に、次第7のその他ですが、委員の皆さん、事務局から何かありますでしょうか。

8 閉会

○荒生議長 ないようですので、閉会を副会長お願いします。

○小松副会長 活発なご意見ありがとうございました。それではこれもちまして、第1回目の地域協議会を閉会いたします。委員の皆さん、ご苦勞様でした。事務局の皆さんありがとうございました。

以上